

# JCD

KANTO  
Designers



#### 話題の施設

2022年2月5日にオープンした「ALLU(アリュウ)表参道店」です。運営する会社は、ブランド品買取でおなじみの「なんぼや」を運営する「Valuence(バリュエンス)ジャパン」。この「ALLU」の店は、心齋橋、銀座、表参道の3店舗展開しています。ブランド品、貴金属、宝石、時計等の、ユースト・ヴィンテージを扱っています。表参道店はレディース、メンズ、ともフロアごとに展開されています。  
\*本社オフィスもカッコイイです。

2022  
0331

JCD kanto publishing



# 賛助企業ブース @ JAPAN SHOP ～JCDプロダクトオブザイヤー2021～

2022Mar.  
3月1日(火)  
～4日(金)  
東京ビッグサイト  
西展示棟



## JCD PRODUCT OF THE YEAR



JCD60周年と節目の年、プロダクト・オブ・ザ・イヤー(POY)も第15回を迎えました。POYの中身を濃くするため、今回から応募時期や審査方法を大きく変更しました。従来は冊子からの選定のみでグランプリ、準グランプリを決定していましたが、今回から冊子での投票を一次審査とし、通過した上位10製品の企業(実際は同得票数があった為12製品)に製品のプレゼンをリアルで実施してもらう二次審査を取り入れました。審査員には窪田理事長はじめ、小坂副理事長、折原理事、井上正会員、特別審査員に株式会社日経BP 日経デザイン編集長 花澤様の5名に依頼し事務局にて開催、グランプリ、準グランプリの他、折原理事のご協力のもとサステナブル・プロダクト賞を新たに追加、審査員の方を悩ませながらも大変盛り上がった二次審査でした。受賞製品は商店建築、日経デザインにも掲載され、外部への発信、認知度を上げる活動ができたと思います。ジャパンショップへの出展はPOY受賞製品をメインとしたリアルでの外部への公開の場となっています。初めて出展した前回は6小間で、受賞製品の他は希望する応募製品を展示しましたが、今回は二次審査通過製品に出展資格を持たせる事でアワードの展示が強調出来たと思います。またJCDブースとしてタカハシツキイチへ登壇した30人のデザイナーの方の作品と合わせた展示となりJCDブース全体は28小間と広く、その中でPOY展示でしたが余裕のあるブースでした。装飾はグランプリ、準グランプリは一製品あたりのスペースを大きく取り、壁面に目立つ配置とし、サステナブルプロダクト賞も一次審査通過製品より目立つような展示としました。来場者に少しでもPOYを認知して貰うため、一次審査で使用した冊子

をA5版に縮小したものを350部作成しましたが、JCDパンフレットと共に2日ではぼなくなってしまいました。嬉しい誤算でしたが、来場者から見れば初めて冊子を見る為、展示内容に合わせた受賞結果を明記するなど少しアレンジした方が良かったと感じています。接客に関しては昨年同様、来場者が製品を見やすいように展示製品から少し離れた場所で待機してタイミングをみて声をかけました。ただスタッフは接客とトークイベントへの参加のバランスを取るのに少し苦労したかもしれません。会期中は製品展示のみならず、賛助企業担当者によるステージでの出展製品の説明PR、私と齊藤副委員長、藤原副委員長の3名での対談、窪田理事長のPOYの講評などトークイベントも実施できたことも新たな取り組みとして成功でした。出展企業、スタッフへ会期終了後にアンケートを取りました。色々感想を頂きましたが好評でした。細かいことを言えばキリがありませんが、タカハシツキイチへ登壇されたデザイナーの方と面識ができた、賛助会員同志の絆もこのような場で作られるのではないかと感じています。今回の出展で気づいたことを次に活かすべく今後も委員会の中で議論を重ねていき、JCD POYのブラッシュアップを図りたいと考えています。最後となりますが、出展に際しご尽力頂きました永井副理事長はじめ、設営、装飾をして頂いたスーパーペンギン様、賛助委員会メンバーの方々へ改めて御礼申し上げます。引き続きご協力の程、宜しくお願い致します。

賛助委員長 羽隅斉明



**グランプリ**  
株式会社ワイ・エス・エム  
NIGHT BOOK(ナイトブック)  
**準グランプリ**  
パナソニック株式会社ライフソリューションズ社  
BioSHADOW バイオシャドウ  
**準グランプリ**  
四国化成工業株式会社  
クレアデコール  
**サステナブル・プロダクト賞**  
株式会社マテリアルハウス  
光フィルター

JCD PRODUCT OF THE YEAR



展示出品 10社 11商品

ソリュート株式会社	iSLWパネル
四国化成工業株式会社	クレアデコール
パナソニック株式会社ライフソリューションズ社	BioSHADOW バイオシャドー
パナソニック株式会社ライフソリューションズ社	ワイヤレススピーカー
株式会社マテリアルハウス	光フィルター
有限会社原田左官工業所	塗り版築
株式会社モザイクジャパン	クリスタルブリック【ウェイブ】
株式会社遠藤照明	次世代調光調色シリーズ「Synca」
SKWイーストアジア株式会社	KEIM Design-Lasur(カイク・デザイン・ラズール)
不二サッシ株式会社	アルビームインテリア
株式会社ワイ・エス・エム	NIGHT BOOK(ナイトブック)

前号に掲載されたPRODUCT OF THE YEAR 2021の結果について、記載内容に誤りがありました。下記の通り訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。  
誤→正  
株式会社ワイ・エス・エム → 株式会社ワイ・エス・エム  
1位 グランプリ → グランプリ 2位 準グランプリ → 準グランプリ 3位 準グランプリ → 準グランプリ



ソリュート株式会社 SLWパネル | パナソニック株式会社ライフソリューションズ社 ワイヤレススピーカー | 有限会社原田左官工業所 塗り版築 | 株式会社モザイクジャパン クリスタルブリック【ウェイブ】



株式会社遠藤照明 次世代調光調色シリーズ「Synca」 | 不二サッシ株式会社 アルビームインテリア | SKWイーストアジア株式会社 KEIM Design-Lasur(カイク・デザイン・ラズール)



Pebble SHEET 左官洗い出し仕上げ・ペブルシート施工

既存面上から、施工可能。短工期で施工します。

株式会社プラン・ドゥ・モトハシ  
〒177-0042東京都練馬区下石神井3-9-10 ガーデンハウス・ペブル石神井1-101  
TEL:03-5923-6505 (代) FAX:03-3904-1920  
info@plando-group.co.jp

感染予防対策プロダクト 縦駆動プッシュプル



UNION ARTWARE  
建築文化を創造する  
株式会社 ユニオン www.artunion.co.jp  
本社・大阪 〒550-0015大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731 東京 tel 03-3630-2811 名古屋 tel 052-363-5221

MEGA.Group  
店舗・商業施設用家具のエキスパート  
**BELL FURNITURE**  
株式会社 ベル・ファニチャー

【本社ショールーム】  
〒232-0014 神奈川県横浜市南区吉野町4-17-3  
TEL:045-252-1411

【渋谷ショールーム(予約制)】  
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1  
渋谷マークシティウエスト14階  
株式会社オフィス空間内 TEL:03-5457-1333(担当:神崎)

内装石張り工事の常識を打ち破る、極薄天然石とFRPの複合石パネル。  
**UTパネル**  
Ultra Thin Panel

2mm~5mm厚にスライスした天然石材 超薄3.5mm  
FRP(ガラス繊維補強エポキシ樹脂)

○極薄・超軽量 / 2~5mm厚の天然石とFRP基盤を張り合わせた超軽量複合パネル。厚さも最薄3.5mm、軽いから運搬費の軽減にもつながります。  
○美しい仕上がり / 原材料は、大理石や御影石などの天然石。見ても触れても無垢材と変わらない美しい表情を実現。  
○要望に応じた加工 / 工事内容に応じ、最大700mm角までのパネル化が可能。さらに、色彩や紋様のつなかり加工など、細かなオーダーにも柔軟に対応。  
○すぐれた経済性 / 特にリフォームの場合、既存の壁・床の仕上材を取り除くことなく、上から張れるので施工期間を短縮でき、トータル工事コストも軽減。

トイレ改修工事 UTパネル施工 石種:ペルレーン(キヤロ)

石のソリューションカンパニー  
ソリュート株式会社  
〒101-0031 東京都千代田区東神田2-7-1 (広都ミヤビル6F)  
TEL:03-5809-2815 FAX:03-5809-2816  
http://www.esg-japan.com

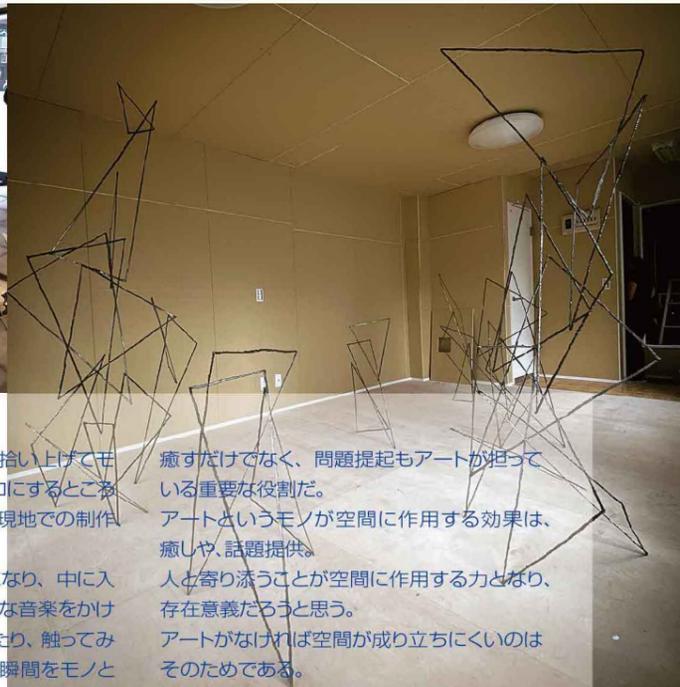
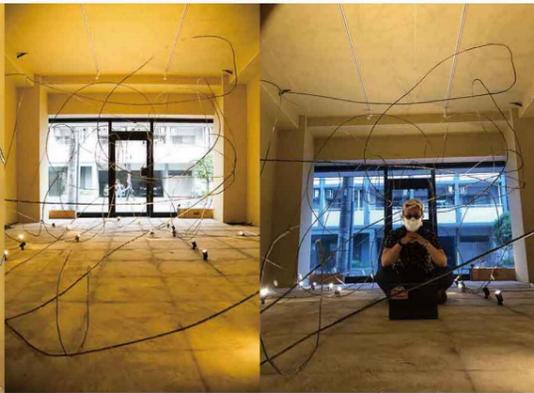
**左官**  
特殊左官工事  
HARADA SAKAN

**JCD**  
令和4年度  
定時総会  
5月28日  
於 札幌  
主催:北海道支部  
(予定)

SAKAN LIBRARY  
本社1Fショールーム

有限会社 原田左官工業所 | TEL: 03-3821-4946  
FAX: 03-3824-3533  
〒113-0022 東京都文京区千駄木4-21-1  
E-mail: sakan@haradasakan.co.jp  
homepage: http://www.haradasakan.co.jp

会員の近況報告



コロナ禍で人を集めてのイベントができなくなり、表現の場としての展覧会ができなくなりました。では、人が集まらなくてもいい展覧会をしたらどうか。そう考えていた矢先に面白い話が舞い込んできた。話を持ってきてくれたのは不動産屋さんで、ビルを買い取りリニューアルして売までの寝かせている期間、この空間を使って面白いことができるか。そんな内容だった。早速、現地を訪れてみると道路に面している一階を改装中だった。床はモルタル下地が剥き出しで、壁面天井は石膏ボードを貼っただけ。まさに工事現場。道路面は全面ガラスで外から見える。中で人が集まるのがダメなら外から見たい。状況をネットで公開してみよう。今までコミッションワークに携わることが多く、空間のコンセプトを考える設計者や空間を使用する施主のことを考えてモノを作ることに慣れてきた。自分だけの表現の場であるはずの展覧会も自然と見に来てくれる人、時と場所を考えてまとめることが多かった。今回はそれらが全てなかった。不動産さんは楽しく面白ければなんでもいい。面白いことができたときは何かは後でついてくるよね、と。面白い、そこにあるのはただの空間。

誰の持ち物でも、誰のための空間でもない。ただの間。使用用途も決まっていない、意味を持たない空間。そんな空間が住宅街の真中にぽつんと存在している。そんな空間は山ほどあって当たり前なのだが、とても新鮮だった。通常、空間は人がいて、使用目的があって意図がある。ただ、ここには何も無い。何も無いけど、何かが確かに存在している。それをこの箱の中に手を突っ込んで引っ張り出してみる。もともと「再構築」を深層テーマとしてずっとモノを作ってきた。人は感動でさえも常に持ち続けることができない。ただ、感動の衝撃は覚えている。頭の引き出しの中から似たような感情、イメージ、知識を取捨選択してもう一度感動を再構成する。最初からずっと感動も記憶も存在し得るのは一瞬で毎度毎度、丁寧に再構築を試みながら進んでいる。モノもそうだ。普段、使われるモノたち。生活用品。建築資材。ほとんどの場合は、暫定的に木は製材し、鉄も工業製品、部品になる。それらの部品を切ったり貼ったり組み立てたりして作り上げていく。昔のような目的のためにパーツを作り上げ組み立てていくと言う手法は現在ほとんどない。簡略化され、昔にとりあえず環境に合わせて作られた平均的なサイズでモノは作り続けら

れていく。全ては継続され、常に新しい一瞬で構成されている。この空間に残された思い、バラまかれて一瞬のカケラ。それらを再構築してみようと思った。しかも、コロナ禍の人を集めてはいけな時期。通常だったら倒れる、壊れる、危険、怪我をする等の制約に縛られてしまうが、今回は人を集めてはいけなから制約がない、自由に形を作れる。ワクワクする。が、しかし、表現者としては観てもらわなければ本末転倒。私が作るモノの特徴として二次媒体に残りにくいと言うのがある。平たく言うと写真に写らない。SNSで写真を見てもらうにしても何が写ってるのか見えなければわかりがある…。写真に写りにくいのは訳がある。私が作るものとしての観念の再構築であって、いかに固定概念や重力から捉われずに逃げられるか。存在感がありつつも存在感があまりすぎるとは困る…。観念の再構築ならば、その特徴を逆に全て突き詰めていったらいいのでは？素材から現地で溶接し組み上げるところから展示期間、バラして鉄の素材に戻すところまでを全て公開したらどうだろうか？人から人に渡る間の隙間の空間と時間。不特定多数の人が知らない空間。

そこにある一瞬のカケラ、形を拾い上げてモノを構成し展示し、バラしてゼロにするまで意味ができる。そう考え、現地での制作解体をSNSにて生配信した。結果的に体験型アートの様相になり、中に入って物思いこみける方や、好きな音楽をかけて会話をし楽しむ、揺らしてみたり、触ってみたり。人々が各々の考えでその瞬間をモノと共有していた。作り手ではなく、作り出したモノと会話をしてもらうのはとても幸せである。一般的にアートや芸術というと高尚な響きがあつて、また多義にわたってしまつて困っているのだが、本質はもっと人と寄り添って存在するものではないだろうか。考えや、思いを具現化する。形にするだけ。日本ではデザインとアートの定義が曖昧でごちゃごちゃになっているが、私の考えでは大きな違いはコンセプトに沿って作り上げられるのがアートである。似て非なるものである。なので、私はコミッションワークをするときはデザイナーのコンセプトを教してもらい空間の意図を教してもらおう。できればオーナーの思いも聞きたい。将来、出来上がる空間に存在するであろう、人々が落ちて床に積もる一瞬のカケラを組み上げてモノを形にする。人を守るために空間は存在し、人を癒すためにアートは存在する。

癒すだけでなく、問題提起もアートが担っている重要な役割だ。アートというモノが空間に作用する効果は、癒しや、話題提供。人と寄り添うことが空間に作用する力となり、存在意義だろうと思う。アートがなければ空間が成り立ちにくいのはそのためである。ただ、非常に面白いのは空間はアートがなくても成り立つが、アートは空間がないと成立しない。その観点から考えるとデザインとアートの違いは明白だろう。

「建築は光を操ることで、彫刻は光と遊ぶことだ。」 アントニ・ガウディ

一人で作品を作っているとなかなか出会えない素晴らしい空間を知ることができ、またどう光を操るかそばで見ることができるとはとても楽しいので私はコミッションアートが気に入っている。もちろん、自分の中に深く降りていってモノを拾い上げる作業も好きだし、それは私のライフワークである。その作品を気に入ってくださる方も幸せなこと。だが、それだけでは偏ってしまう。ここで両極を見れることを嬉しく思う。

空間と彫刻の呼応について

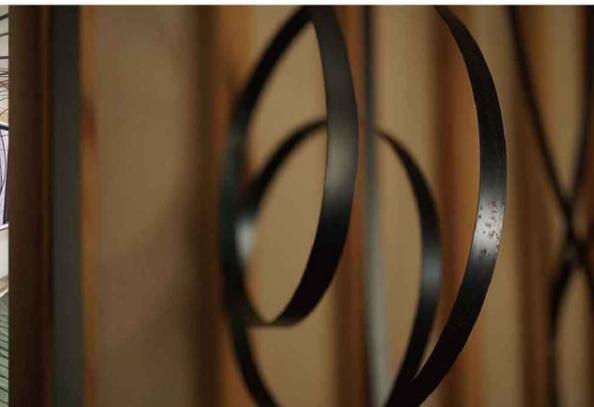
コロナ禍における展覧会「間」「縦」を通じて思考したこと



**KAARA**  
彫刻家  
東京造形大学彫刻科卒  
2007年より抽象的な表現を始め、素材そのものと対話する作品を制作するようになる。重力を感じさせずに空間に存在感を持たせる作品が多い。  
2017年より「再構築」を作品制作の深層テーマとし、立体作品の素材として主に鉄を使用するようになる。作品そのものが年を重ねることにより経年変化自体を楽しめるものが多く、素材そのものの美しさを魅せることを大切にしている。  
サロン・ド・トナヌ 入選 2019-2021  
主な実績  
JAL サクララウンジ(マニラ・ホノルル)  
アロフト東京銀座  
珠洲市民図書館  
中山・東京競馬場 他



KAARA HP  
展覧会の動画など  
ご覧いただけます。



## 「弘前大学教育学部附属中学校」 東北支部Soda活動報告

東北支部6回目のSoda出前授業を行ったのは、弘前大学教育学部附属の国立中学校で、同幼稚園と小学校に隣接した、広大な敷地の中にありました。11月26日に1年生126名で行われたSodaは、前年の青森市立大野小学校Soda活動のニュースを見て、美術の授業として行いたいと思った蒔苗先生の思いがきっかけとなり、同中学校が大塚支部長の母校で、尚且つ現校長先生が同級生だったという縁から企画、開催されました。今回きっかけをつくって頂いた中学校の蒔苗靖子先生と初参加の正会員早川佳子さんの感想をご紹介します。



幼稚園小・中学校校門



1時間目授業



体育館での授業



素材探し

### 【弘前大学教育学部附属中学校 美術科教諭 蒔苗靖子】

中学校美術科では、生活とデザインに関する学習がとても重視されています。今回のSoda企画には、デザインやそれ以外に関する、実に多くの学びの要素が含まれており、他校での様子をTVで見た時から非常に魅力を感じておりました。身の周りにはデザインされた色や形が多種多様に存在し、私たちの生活を楽しく豊かに、そして便利にしてくれます。そんなことは美術と関わりのある人には当たり前のことです。でも中学生にとっては、授業で教えられ、経験して初めて「デザインするということ」に気付くことなのです。

小学校では子どもながらの未知なる発想で「夢のお店」を制作するのかもしれませんが、私は「店舗のデザイン」をとおして、建築やインテリアデザインの職業に興味を

持ってもらいたいという思いもありました。この分野は普段の美術でも時間数の関係でなかなか経験させることができない、題材設定が難しい分野です。しかしこのワークショップでは、店舗のデザインをする上での「光源による変化」、「安全性」や「統一感」といった、まさにプロの方々にはかたがたに新鮮な言葉が飛び交い、生徒たちは造形的な思考をフル回転せざるを得ない様子でした。創造し手を動かしてものを生み出すという行為の大切さを改めて実感しました。また、技術や理科の先生は光源の模型にとっても感動し、本物の素材を自由に選べる環境に驚き、学級担任はひたすら生徒を撮影しておりました。そんな各教科の先生方の姿を見ると、美術という教科を超えた「本質的な学び」を体験させることができたのではないかとさえ思います。

当初の予定から延期になったときはとても不安でしたが、皆様のご協力と熱いパワー

(長い廊下の机運びや荷物の運搬!)のおかげで無事にワークショップを終えることができ、大変感謝しております。何よりも前日準備のときに、バスケットボール部所属であった大塚社長が、懐かしそうにバスケット部員の活動を見ていた姿を思い出すと、附属中学校で実現できて本当によかったと思います。

ワークショップを終えた生徒の感想は「自分たちの意見を尊重してくれて嬉しかった」「目的やイメージをはっきりさせて作る大切さを教えてもらった」「どの方も面白い発想で僕を驚かせてくれた。面白い発想で人を楽しませるデザイナーという職業がかっこいいと思った」など、明らかにこれまでの価値観が変化したものばかりでした。コロナ禍という制約の中、生徒たちのために尽力して下さった皆様に心よりお礼を申し上げます。本当にどうもありがとうございました。

### 東北支部正会員 株式会社ピオ・プランナーズ 早川佳子】

弘前は母が幼いころに住んでいたことがあり思い出話をよく聞いていたので、今回Soda活動ではじめて弘前に行けるのを楽しみにしていました。しかし初めてのSoda活動参加で、しかも今回は小学生ではなく中学生。どんなことをするんだろう?と不安と緊張のなか前日の事前準備で中学校の4階にある体育館に向かうと、生徒たちが列をつくらせて机を運んでいるところでした。「こんにちはー。」と声をかけると「こんにちは!」「こんにちは!」と次々と元気よく挨拶してくれる子どもたち。ワイワイガヤガヤ賑やかな雰囲気一気に緊張がほぐれ、次の日がとても楽しみになりました。余談ですがワークショップは体育館で行うと聞いて極寒を覚悟していましたが、体育館に暖房機が備わっており、雪国の学校は違うなぁと感じ

ました。Soda活動当日、1時間目の「寸法・素材・照明」の講義のあと、模型制作がはじまりました。担当したのは男子3名女子4名の班。自己紹介したあとに、事前に生徒たちが準備していたテーマ「手品やエンターテイメントを楽しみながら食事ができる驚きのレストラン」と、その完成予想図、イメージカラー、お店の可愛いキャラクターの人物形まで作られていて、しっかりとした内容にとっても驚きました。壁、床、装飾、家具、サインの担当を決めて作業がスタート。それぞれが素材を持ってきては「これどうかな?」と仲間同士で相談しながら進めていました。私は質問を受けたり迷っている様子だったり、気になることがあった時に声をかけ、こうしたらいんじゃないかな?この素材はどうか?と一緒に手を動かしたりしました。終了時間が近づくと、完成できるだろうか?と焦る気持ちが出てしまいましたが、メンバーそれぞれが各箇所です工を凝らしたとても楽

しい作品になりました。私が一番印象に残っているのは、出来上がった模型を前に班の仲間同士で「〇〇くんのサインがいいね!」「〇〇さんが作ったここもいいよ!」とお互いを褒め合いながら、みんなニコニコ嬉しそうに、満足そうに眺めている生徒たちの姿です。今も思い出すと嬉しい気持ちになります。デザインの自由さ・面白さ・可能性、そして、ひとつのものをチームの仲間と協力し合いながらつくりあげる。という純粋な喜びをワークショップに参加して改めて気づかされました。とても良い体験をさせていただきありがとうございました。ぜひまた参加させていただきたいです。



蒔苗先生

早川さん



Restaurant of fish



参加して頂いた講師



早川さんが担当したワンダーワールドの原案



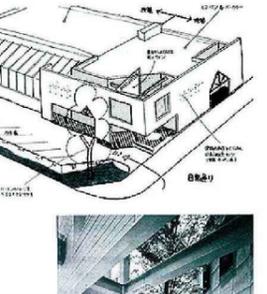
制作風景



ワンダーワールド

百花りょう虫、多様を模索している。そんな生活者に対して「面白い」を追求するクライアントと共に具体的に環境を創出していく者として、最近のこの分野に対して特化された興味と部のいくつかにふたつをいふ。

① ダブルウォール  
 狭い敷地に、あまりにも非外部空間をもとにした高級スーパーマーケットの創出（東急・自由ヶ丘）  
 奥に深いスーパーマーケットの前面に、レストランとペーカリーを道路際まで増築したもの。既にその敷地に限られていた敷地の多様化を促す、買ひもの・遊い・社交という3つの層で創出された商業の形である。  
 イメージの一端と共に交差のほらしい幹線道路に対してのアプローチと、内部空間での静かなたづまいという相矛盾する条件に対して建築したもの。用途変更時に建て替えが可能となるように5階を採用、その交差に対して建物のものが看板であるためのビルボードとして外装はシンプルなもの、内装はゆめがたのガラススクリーンを2枚の外装をつくった。外装は幹線道路を走る車の観音、排気ガス発射の想定された開口部は閉鎖された。その限定した開口部は扉のアップ



(資料-1)



「あのころ...」

重鎮のデザイン回顧録

企画・共感・提案  
 —JCD活動を振り返る—



奥平與人(おくだいらともひと)  
 (公社)商業施設技術団体連合会副会長・(株)岩村アトリエ取締役・一級建築士・マイスター商業施設士  
 1973年早稲田大学大学院修了後、鹿島建設(株)建築設計本部へ入社。30年間本社にて特に商業建築の企画及び設計を担当。  
 サンストリート亀戸の開発では設計部長として携わる。06年退職後、文化女子大学造形学部の教授として就任。  
 1995年に日本で初めて「有期限建築」を提唱。取り替えられる建築及び都市装置を提案。他にコンペ、実作で多数受賞。

ルを強めるため、三角形の形にあげられたが、内部からはその開口部が形自給的な空間に作り取り、おろつきをうけている。ダブルウォールによって包まれた半外部空間には新鮮な空気、床の低い天井及び天井のフレームが、エントランス部分での抑えとスペースを開放すると共に、奥深いスーパーマーケットとしてのプレゼンテーションの場にもなっている。何かを求めると同時に周囲空間の彫刻に対する「造り」のスペースとして、ダブルウォールは彫刻に対してあまりにも顕著的な存在感を醸成している。

② フレーム VS. モンリー  
 超層階級のオープンスペースに、ペーシクウォールとしてつくられたM.S.の例（神奈川・浅草台）  
 高山風景としてまた街並みの際立させている新築のオープンスペースではあったが、1100㎡の敷地に2200㎡の建築物を建てたことであるという空間に命とりがなく、ハコ型の建築物をよきなくされた。

しかし街が成長した時でも住居の基本拠点として変わらぬようにしたいと維持しえるよう仕上げる素材の選定のモンリーブロックを外装に採用した。100㎡近い3層のメー

ンリーブロックは各スプラインで区切られビューマンゲームをうけるようにごまかすアパのなかの表情がうけている。このペーシクウォールモンリーブロックは、「造り」のメカニズムとして独特なフレームを採用。このフレームはエントランスの玄関と共に、内部からは明確な建物の線として外装に現れともなっている。また白転木、パヤール、白漆等キアビー塗料を組み合わせるためのフレームも、都市へのアピールとしてペーシクウォールな表情としてのブロックと対比するメカニズムが採用されている。街への存在感としてまた変わらぬ表情をうけつつ、外装における「遊び」の要素として表現した例である。

③ アーバンレベル  
 豊橋のニュータウンに、エキスペースを貫いた高層ビルディングの例（東京・豊橋）  
 ヒル+日本のマチ。住居者+公共のマチに数々の建築者があつてつくった建群。ともすると成熟したマチゆえ、既成が敷地になり使いの開口にパブリックな空間に作りつけられていく部分のショッピングストリートにあって、商店主と住民の自



(資料-2)

入会からの経緯

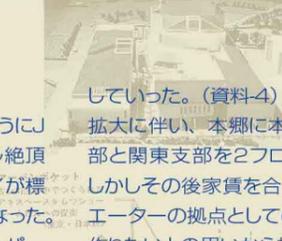
私は(表-1)で判りいただけるようにJCD創立から25年後、1985年バブル絶頂の時代に入会。当時、スーパーニチエが標準店舗を企画しそれが業界で話題となった。その翌年のデザイン賞に小規模なスーパーのリニューアル作品が入賞、それがきっかけで当時の奥脇専務からの勧誘で入会した。当時は麹町に本部があり理事会後には決まって囲碁クラブが盤を構えるというサロンの雰囲気があった。その翌年には高村英也理事長が誕生。その年の商環境デザイン賞の審査員には赤松良一氏、碓井登氏、竹山実氏、多田美波氏、竹内欣吾氏、田中一光氏、西脇顕正氏等各界の蒼々たる著名人が名を連ね、新たな商環境の醸成を創り出そうとする熱気があった。そんな中、当時ゼネコンの設計部長が正会員となる事も少なく、機関紙での原稿「未分の状態への建築言語としての『遊び』」等、様々な新しい建築からの視点をコンストラクティズムと称して店舗設計家のオーナーデザイナーの方々へ提言していた。(資料-1) 1990年の機関紙では当時の広報委員長の池澤寛氏と共に「1980年代のデザイントレンドを見る」を写真構成した。(資料-3) 1992年から理事となるとすぐに、高村理事長から新進気鋭なクリエイター30名を入会させるので今までの店舗設計家との橋渡しをせよとの大任を言いつけられる。その当時入会したのが内田さん、杉本さん、近藤さん、飯島さん、等々のクリエイター達である。翌年の役員改選で、私は当然のごとく内田氏を理事長に推薦した。総会の短い時間での話し合いの中で内田氏が自ら辞退することによって黒川氏の理事長が誕生。杉本氏は奥平が旧理事を説得し内田理事長にすると誤解された。しかしデザインへの深耕は鋭く進めていた。例えば内田氏がデザイン委員長の時代にはデザイン賞にも斬新な作品が入賞していた。1992年から機関紙広報委員長を池澤寛氏から受け継ぎ、渡辺隆氏を編集長に迎え、1冊数百万円をかけてホテル、エンターテイメント等環境の周辺の新たな動きにも鋭くクリエイター

意によりつくれた再開発小規模ビル。共同することで設計された広い開口空間を確保するビル外装を創出することで、それまでの類似の開口にあるのと同じようなスキマを増やすにつれてまたえりとりられたのがこのアーバンレベルである。別府の街の賑わいというスキマは、政府部に対してはマンションの最先空地となり、政府部では、街のテナントへの引き込み効果のある創造空間となっている。

ヨコに長くのびるいく本かのストリートに対して、ゾミダに何本もあるタテの通り抜け路地は前述したまの街の表情をもつた100㎡近い「遊び」といふ。

ともするとコストと工期で初期1985年達成しようとする商業建築の中で、住居者が目に発見するモチベーションと見えるための装置として、これらの建築家キアプラーが人びとに賞賛費用をうけることは、それこそ商環境の中で1番ひといふ。

(参考) ゆまにて・ばす  
 地方自治の文化施設の中で、日常の暮らしをむく、ストリート表の連続するボール（長野・駒ヶ根）

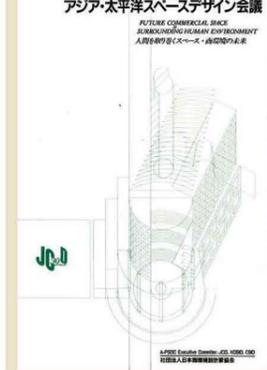


(資料-3)

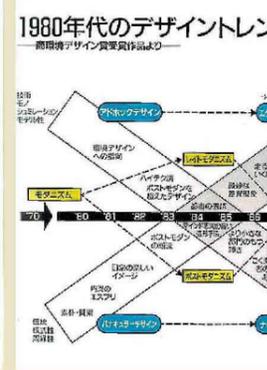
していった。(資料-4) 1996年には活動の拡大に伴い、本郷に本部事務局を移転、本部と関東支部を2フロアにして活動をする。しかしその後家賃を合理化するとともにクリエイターの拠点としてのオフィス環境を自ら作りたいとの思いから神田の地下にあった放置倉庫を発見。会議、サロンが同時に使用できるように家具、照明などを自ら設計製作した。2007年に次世代の子供たちにプロとしてのデザインの意味を一緒に体験する場をと考え、関係していた地域の教育助成する財団法人の紹介で公立小学校を訪問。その当時の校長室には6年生の一漢字絵が貼られていた。私はそのユニークな手法に校長へデザイン教育を提案、それがsoda委員会の設立のきっかけとなった。

APSDA活動(アジア・太平洋スペースデザイン会議)について

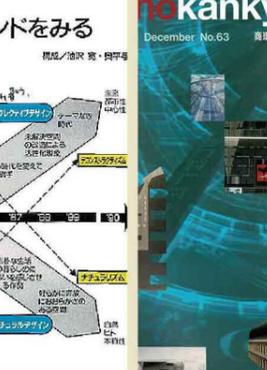
これはJCD/KOSID/CSIDの3国が1987年に第1回として大阪で開催した。その後、韓国、台湾で開いた後、4回目を東京で開催。1990年東京大会「人間を取り巻くスペース・商環境の未来」JCD/KOSID/CSIDについて、当時高村英也創設者がこの全体の会長に、黒川恭一元理事長が実行委員長、更に百貨店業界に強いパイプを持つ羽田良一氏がプロデューサーとして数百万円の協賛金を集めた。私はプログラムディレクターとして、テーマから講師の選定まで任された。この大会では2日間に延358名が集まった。JCD会員も142名が全国から参集。4490万円の収入に対して4310万円の支出で180万円の赤字であった。(資料-2)はその時のプログラムである。続く1994年台湾大会ではJCDを代表して「SENSORY WARE AS ARCHITECTURAL DESIGN METHOD」のテーマで商業建築の歴史的考察の上、紹介した自作は、台湾のデザイン誌の表紙に掲載された。(資料-5)はその時の表紙である。このころのJCDはAPSDAを実質的にリードしていた。その後東南アジアの国々も加盟し10か国12団体に増加し、野村理事長と一緒に「APSDA規約」を幹事国として提案し作成する。ここでJCDの負の遺産として記録し



(資料-4)



(資料-3)



(資料-4)



(資料-5)



(資料-5)



(資料-5)



(資料-5)

ておくべき大会があった。それは1996年福岡大会である。その準備に当時の理事会で林支部長理事の行政からの200万円の補助金が出る提案になびき東京での開催を阻止め、福岡での開催を決定した。私は最初から林理事の進め方に反対したが賛成多数で決定。しかし実際の運営体制の杜撰さゆえに大赤字となり、運営外注委託先からの提訴による裁判となる。そのために全理事が個人的に50~5万円の自己負担で処理した。JCD創設以来の不祥事となるがその反省から、理事は運営の責任を取る覚悟が大切である。その後1998年マレーシア、2000年パリ、2002年マレーシアなどでの開催。その当時は東南アジアのメンバーは裕福な階級の会員が多く、ビジネスとしてのトレーディングの場となる。そこで当初のデザインの未来を展望するという趣旨から離れていったのでJCDは脱退する。

REDUSEの時代へ

次に2011年、JCD50周年にてんぼ流通新聞社の年頭所感にて以下を寄稿したのでご紹介する。  
 「商・アキナイ」とは「モノコト明ニシテ、コレ商量ヲ得ルナリ」との意を「モノ(商品)やコト(出来事)の価値を明らかにし、その価値を理解させヒトヒトの間で交換、交流する事によって新たな価値や恩恵を享受する」と解釈してみたい。

(表-1)

	JCDの動き	奥平の動き
1961年	協会創立/店舗設計家協会	
1985年	協会名変更/一社・日本商環境設計家協会	JCD入会
1992年		理事就任/機関紙委員長(〜96年)
1994年		常任理事就任
1996年	本部移転/文京区本郷	副理事長就任(〜2011)
2000年	本部移転/千代田区外神田	
2007年	soda委員会設立	soda創立
2011年	50周年事業	50周年事業実行委員長
2012年		正会員引退評議員就任(現在5期目)

その視点からJCDでは1960年代の経済復興時期から高度成長期、バブル崩壊期などその時代の中で最先端の商業環境の創造から中小規模店舗の活性化、まちづくり支援などを実践してきた。この先輩達の知恵、知識を「温故知新」再度見直し整理分析をする事によって、かつての地域規模での提言原理を世界規模での再編提案として試みたいと考えている。以上を通して地域経済、地球規模の環境問題、ひいては一人一人の生活文化のあり方等、これからの社会、文化の発展に寄与していきたい。

「インテリア環境カルテ(商業編)」の提案

近年では2017年に上記のカルテを提案した。これは今やICDとJAIPAが主体となって活動しているIDMの初期の活動としてインテリア業界での環境についての共通の物差しを作ったものである。メンバーにはJCDの大滝さん、藤田さん等も含まれている。サブタイトルを「インテリア専門職能者の領域確立に向けて」とした。以下にその概要をご紹介します。  
 「環境への視点はますます重要となっている。しかしインテリア分野においてはそのわかりやすい指針がなく顧客との会話の中では専門家としての知見は行政の規約(省エネ基準など)か企業でのマニュアルなどしかなく、環境配慮への解決法は専門家が多岐にわたる対応をしている。そこで誰もが基本として抑

えておくべき指針を作ることにより環境への配慮を共通認識として施主に提案できるツールを提案する。  
 商業における環境とはグローバルな地球環境への視点よりも身近な生活環境の視点を中心に考える。すなわち、「商業」とは自然環境保全・多様性の尊重・健全なる事業・地域活性化(地域の更なる賑わい)などの大きな枠組みを前提としながらも、商品を所有している人や存在している場所と、必要としている人または必要としている場所を結びつけることにより利益を得る産業または経済活動である。その意味でこの商業編では、持続した発展可能社会(Environmental sustainability)に向けて、事業者、施設利用者(消費者)、インテリア設計の専門家が三位一体となり、使用、利用していきける指針を目指す。建築業界でのCASBEE(建築環境総合性能評価システム)は業界の中で普及している。インテリアの専門家としてのこのツールは、インテリア学会を中心に初めて提案されたものである。特に商業編では業種業態の多様性よりこのツールを使用する事例を集め、更に使いやすく効果が顕在化するための改良を推進していくことが求められる。」

コトに対するヒトのタイプ

最後に表-2をご覧ください。コミュニケーションの方法論として参考にしていただければ幸いです。

(表-2)

	コトに対するヒトのタイプ	
	ことおこしタイプ	ことおさめタイプ
日常的視点	何か良いことないか? 発見の視点	良いことが読めないか? 相対的視点
現象に対して	おや?	またか?
論理のより所	体験の連鎖	知識の体系
思考パターン	感覚的	理知的
説得の仕方	主観的直感主導	客観的論理主導
他と比べての言い訳	良いでしょうか?	悪くないでしょうか?
感情の起伏	感動追求型	感性抑制型
モノの整理	ランダム・ノイズ型	フラット・リズム型
処理方法	同時多発反応	順次処理対応
脳細胞活用	右脳活用	左脳活用
2005年10月		



# 関東支部 支部会員 募集中!!

デザインに興味のある方は正会員の条件を満たしてなくても支部会員として会員登録が可能になりました。

## Q JCD ではどんなことをやっているの?

- 支部賛助委員会**  
各メーカーさんや施工会社さんと共に情報交換し「より高みの作品作りへ!」
- 研究セミナー委員会**  
"トーク"の名で様々なジャンルやフィールドで活躍するゲストを迎えて開催される勉強会です。
- メディア委員会**  
広く JCD の活動を知って頂く為に HP やブログで情報発信します。
- 交流委員会**  
主に年に2回開催されるパーティーの企画運営「よく働き(学び)よく遊べ!」
- 省エネ CO2 削減委員会**  
これからの時代に欠かせないテーマ。「皆で考えよう!」
- 広報委員会**  
JCD の活動を会員同士シェア!
- 特別委員会**  
支部の研修旅行など「会員同士のコミュニケーションをもっと!」

興味があるとゆう方は ▶

## Q 支部会員のメリットは?

- ◎ デザインアワードへの参加(一般扱い)
- ◎ 連続シンポジウムの参加
- ◎ 支部委員会や soda 委員会の参加 ※学生はアシスタント等
- ◎ 賞詞交換会への参加
- ◎ 各種イベントに割引参加あり

## Q 支部会員になる条件は?

学生及びデザインに関わる職業の個人・企業人の 35 歳まで  
 年会費 学生会員 ¥5,000 ▶ 会員証の発行(登録ナンバー)  
 支部会員 ¥10,000 ▶ 名刺や経歴書への記載可能

## A なりたい!

メールにて JCD 本部へ支部会員希望の旨を明記頂きお送り頂くか、ご記入欄をご記入の上、下記住所へ郵送/FAXして下さい。



JCD 本部 E-mail

下記アドレスを打込んで頂くかQRコードでアドレスを読取して下さい。



info@jcd.or.jp

## 関東支部 新入会員 2022年2月末現在 入会順



大西 昇  
株式会社森村設計 環境部  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-8-8 MEGURO F2ビルディング E-mail:123nomonomo@gmail.com  
TEL:03-5704-6409



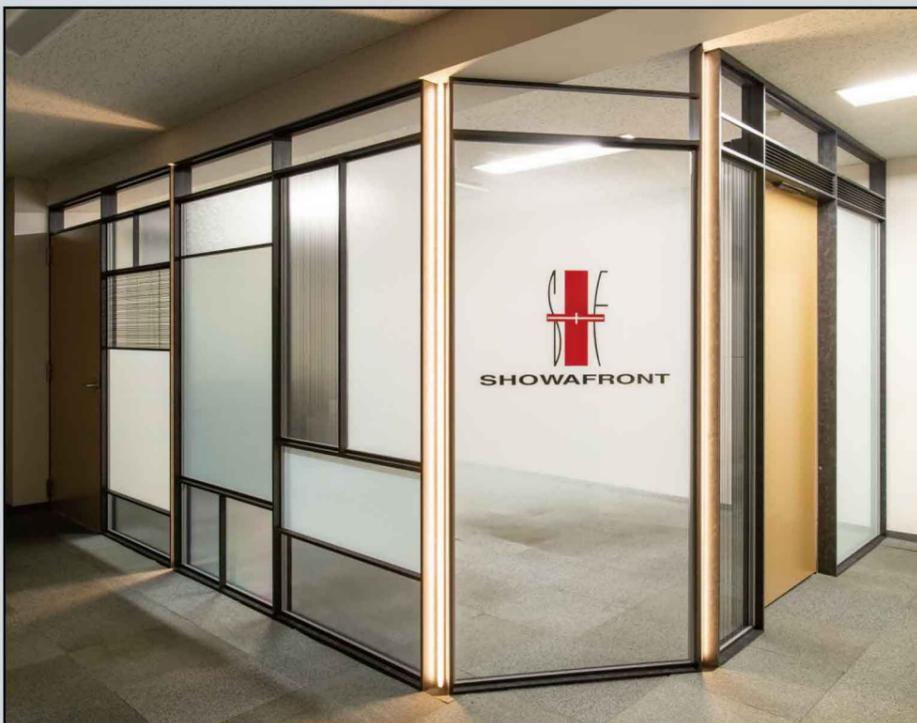
藤田 あかね  
株式会社エーアンドエム 代表  
〒272-0025 千葉県市川市大和田4-16-3  
TEL:047-377-3031 FAX:047-377-3077 E-mail:info@aandm8.co.jp URL:https://www.aandm8.co.jp  
1."ALOFT TOKYO GINZA"アートディレクション(ホテル、東京都中央区、アートディレクション、アートコンサル、2020年)、2."広島テレビ"(TV、広島県東区、アートワーク、2018年)、3."三井不動産(本社)"(不動産、東京都中央区、セミナー、ワークショップ、ディレクション、2019年)、資格-他:アートライフスタイリストマスター、アートマインドコーチ



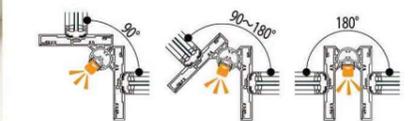
玉上 貴人  
タカトタマガミデザイン株式会社 代表取締役  
〒151-0071 東京都渋谷区本町2-45-7 RENN Bldg. TEL:03-5365-1701 E-mail:t@takatotamagami.net URL:https://takatotamagami.net/  
1."エメラルダス"(水上バス、隅田川を運行、内装設計、2018)、2."羽田空港UPPER DECK TOKYO"(フードコート、東京都大田区羽田空港、内装設計、2019)、3."サンウェルミュージック北参道"(オフィスビル、東京都渋谷区、設計監理、2008)、4."草津ホテル 別館 綿の湯"(ホテル、群馬県草津町、設計監理、2007)、5."ESR市川DC KLÜBB エリア"(物流施設の供用部、千葉県市川市、内装設計、2019)



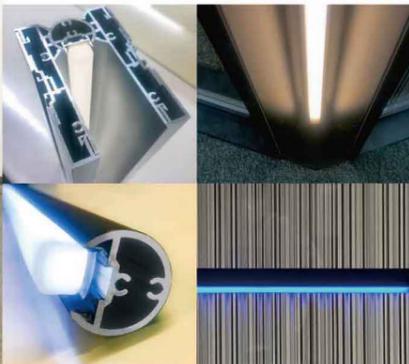
大高 啓二  
4hearts代表 VMD+五感空間デザイナー  
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町3-2 3F TEL:03-3226-4082 FAX:03-3226-4083 E-mail:otaka@4hearts.co URL:4hearts.co.jp  
1."2021 KITTE丸の内 クリスマス空間演出"(企画デザイン担当)、2."2021-22 ヴィーナスフォートイルミネーション"(企画デザイン担当)、3."2020 WITH 原宿 オッシュュマーズ"(店舗企画デザイン+五感デザイン担当)、4."2016-現在 ロフト全店"(VMDコンサル担当)5."2018-現在 ダルトン全店"(VMDコンサル担当)



ヒカリ方立は自在方立とLED照明を組合せた方で90°~180°の間の自由な角度で設計が可能です。LEDが方立の奥まった部分に取付けられるので、フレームに光が反射して間接照明のような雰囲気を作ることができます。



ヒカリ方立の芯材として使用している丸パイプ材は単体での使用も可能でLEDを組込んで横向きに設置するなど様々な使い方が可能です。



## SLIM FRONT 内美 × EcoLEDa

スリムな見た目が魅力のスリムフロントシリーズの中でも内装に特化した「内美(ナカミ)」とLED照明組込シリーズ「EcoLEDa(エコレダ)」。ふたつの商品の組合せで様々なアイデアを形にできます。まずはお気軽にお問合せください。

昭和フロント株式会社  
 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-7  
 TEL.03-3293-6721(営業推進部)  
 https://www.sfn.co.jp

無添加でぷるぷる  
 「椿サロン」の北海道ほっとけーき。  
 貴重な北海道産バター4種類の競演。  
 濃厚で風味豊かなバターをご堪能ください。

北海道ほっとけーき バターセレクト

銀座6丁目ソニー通り  
 tsukaki salon  
 GINZA

代官山に小さな Bar で 6 周年。

株式会社西脇一郎デザイン事務所 / 株式会社エヌ・フランニング

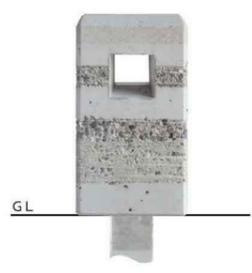
# 強く、そして、美しく...ひとつとして、同じものがないボラード



【デザインPCボラード】



SGH-100(BK) ブラック  
寸法/φ200×H600



SGH-200(GY) グレー  
寸法/W250×D250×H450



SGH-300U(GY) グレー  
寸法/φ350×H400

オーダーメイドも、ぜひお気軽にご相談ください。

株式会社 **サンポール**

商品のお問い合わせ、総合カタログのご請求は 営業企画部 若江まで (y-wakae@sunpole.co.jp)  
 本社 〒730-8667 広島市中区南吉島2-4-5 TEL (082) 244-4655 FAX (082) 243-5914  
 東京 〒105-0004 東京都港区新橋2-2-9 TEL (03) 3591-8501 FAX (03) 3591-8561  
 H P <http://www.sunpole.co.jp>

## JCD関東支部 賛助会員

2022年2月末現在 入会順

みはし株式会社	青木 勇弥	埼玉県和光市白子3-26-43 tel:048-464-3112 fax:048-466-1034	<a href="http://www.mihasi.co.jp">http://www.mihasi.co.jp</a>
西澤工業株式会社	西澤 康明	群馬県高崎市上並榎町445 tel:027-362-6234 fax:027-362-6462	<a href="http://www.nishizawakk.co.jp">http://www.nishizawakk.co.jp</a>
株式会社本間工芸	本間 克典	神奈川県相模原市緑区長竹887-3 tel:042-780-0160 fax:042-780-0173	<a href="http://www.honmakougei.sakura.ne.jp/">http://www.honmakougei.sakura.ne.jp/</a>
桐野建設株式会社	桐野 温	埼玉県三郷市栄4-258-1 tel:048-954-6606 fax:048-954-6628	<a href="http://www.kirino-kensetsu.com">http://www.kirino-kensetsu.com</a>
アルプス株式会社	原 康喜	東京都新宿区早稲田南町33 tel:03-3207-0006 fax:03-5272-0051	<a href="http://www.alps-co.com">http://www.alps-co.com</a>
ソリユート株式会社	奥 弘史	東京都千代田区東神田2-7-1 広部ミヤケビル6F tel:03-5809-2815 fax:03-5809-2816	<a href="http://www.esg-japan.com">http://www.esg-japan.com</a>
株式会社日吉屋	平山 大輔	京都府京都市上京区百々町546 tel:075-441-6644 fax:075-441-6645	<a href="http://www.wagasa.com/">http://www.wagasa.com/</a>
株式会社ユニオン	吉田 幸司	東京都江東区白河2-9-5 tel:03-3630-2811 fax:03-3630-2816	<a href="http://www.artunion.co.jp">http://www.artunion.co.jp</a>
株式会社ドラフト	長塚 真唯	東京都渋谷区神宮前1-13-9 アルテカプラザ原宿2F/3F tel:03-5412-1001 fax:03-5412-1011	<a href="http://www.draft.co.jp/">http://www.draft.co.jp/</a>
有限会社原田左官工業所	原田 宗亮	東京都文京区千駄木4-21-1 tel:03-3821-4969 fax:03-3824-3533	<a href="http://www.haradasakan.co.jp/">http://www.haradasakan.co.jp/</a>
Soranna Avenue株式会社	ソランナ マルコ	東京都大田区仲池上2-18-14 グランイーグルII-601 tel:090-8304-1458	<a href="http://www.sorannaavenue.co.jp">http://www.sorannaavenue.co.jp</a>
株式会社オーツ QUON TOKYO	西盛 正知	東京都港区港南3-4-27 WAREHOUSE2F tel:03-6433-1075 fax:03-6433-1076	<a href="http://www.otu.co.jp">http://www.otu.co.jp</a>
株式会社SIXINCH ジャパン	乾 敦雄	東京都文京区本郷2-35-10-1F tel:03-6801-6670 fax:03-6801-6674	<a href="http://www.sixinch.jp/">http://www.sixinch.jp/</a>
株式会社GLORY	申東 照	東京都北区浮間4-23-25 tel:03-3969-2591 fax:03-3969-2592	<a href="http://www.gloryad.jp">http://www.gloryad.jp</a>
株式会社CROWN	所 奈津子	東京都港区北青山2-10-28 1F tel:03-3479-5553 fax:03-3479-5554	<a href="http://www.area-japan.co.jp">http://www.area-japan.co.jp</a>
株式会社藤田建築	小澤 一久	東京都台東区西浅草1-7-4 tel:03-3841-5021 fax:03-3841-6456	<a href="http://fujitakenso.jp">http://fujitakenso.jp</a>
株式会社クラマスTK, B	小渡 庄右工門	東京都豊島区東池袋3-7-9 AS ONE池袋ビル10階 tel:03-5948-7248 fax:03-5948-7249	<a href="http://www.kuramasu.co.jp">http://www.kuramasu.co.jp</a>
アルティ株式会社	北村 健志	東京都港区南麻布4-11-30 南麻布ビル1F tel:03-5449-2500 fax:03-5449-2920	<a href="http://www.arti-tokyo.com">http://www.arti-tokyo.com</a>
株式会社サンズ	天本 健太郎	東京都港区浜松町1-20-8 山市ビル4F tel:03-6809-2725 fax:03-5733-5939	
有限会社早瀬塗装工業	早瀬 竜也	茨城県常総市豊岡町丙3836-1 tel:0297-27-6677 fax:0297-27-6678	<a href="http://www.hayasotosou.com">http://www.hayasotosou.com</a>
ルイスポールセンジャパン株式会社	後藤 謙太	東京都港区六本木5-17-1 アクシスビル4F tel:03-3586-5341 fax:03-3586-0478	<a href="http://www.louispoulsen.com">http://www.louispoulsen.com</a>
有限会社桐山製作所	桐山 時男	東京都荒川区東日暮里2-31-11 tel:03-3802-0005 fax:03-3801-1170	<a href="http://www.kiriyama.co.jp">http://www.kiriyama.co.jp</a>
株式会社オオカワ	三浦 雄彦	埼玉県三郷市戸ヶ崎2-711-1 tel:048-948-3300 fax:048-948-3320	<a href="http://www.ohkawaworks.com">http://www.ohkawaworks.com</a>
クリヤマ株式会社 東京支社	神田 隆史	東京都千代田区神田駿河台3-4-3 龍名館本店ビル8,9F tel:03-3298-7883 fax:03-5298-7888	<a href="http://www.kuriyama.co.jp">http://www.kuriyama.co.jp</a>
新興プラスチック株式会社	松田 好且	東京都中央区京橋3-14-6 斎藤ビルディング1F tel:03-6263-0533 fax:03-6263-0534	<a href="https://trans-parency.jp">https://trans-parency.jp</a>
シンコールインテリア株式会社	上村 雅哉	東京都港区西麻布1-4-26 tel:03-3404-8184 fax:03-3404-3581	<a href="http://www.sincol-it.co.jp">http://www.sincol-it.co.jp</a>
株式会社CFノベルストーン	黒野 莉恵	東京都品川区南大井6-16-4 5階 tel:03-6721-9320 fax:03-6721-9340	<a href="http://www.nobelstone.co.jp">http://www.nobelstone.co.jp</a>
関西フェルトファブリック株式会社	貴山 毅	東京都千代田区東神田1-11-1 KFF BLDG. 7F tel:03-5835-5650 fax:03-5835-5654	<a href="http://www.kansafelt.com">http://www.kansafelt.com</a>
株式会社ノミック	井原 健介	東京都中央区築地3-7-10 JS築地ビル7F tel:03-3549-0155 fax:03-3549-0020	<a href="http://www.nomic-material.com">http://www.nomic-material.com</a>
株式会社オーシマプロス	大島 亜季子	東京都目黒区下目黒2-16-11 tel:03-5759-5301 fax:03-5759-5302	<a href="http://oshima-pros.co.jp/">http://oshima-pros.co.jp/</a>
野原ホールディングス株式会社 CSカンパニー	二階堂 友美	東京都新宿区新宿1-1-11 tel:03-3355-4261 fax:03-3355-4262	<a href="http://www.nohara-inc.co.jp">http://www.nohara-inc.co.jp</a>
株式会社アドヴァン	三森 武文	東京都渋谷区神宮前4-32-14 tel:03-3475-0281 fax:03-3475-0280	<a href="http://www.advan.co.jp/">http://www.advan.co.jp/</a>
株式会社クリーブラッツ	新山 裕一	神奈川県横浜市磯子区森5-21-15 tel:045-353-7891 fax:045-353-7893	<a href="http://www.kleebatts.co.jp">http://www.kleebatts.co.jp</a>
株式会社スズキ	露木 一大	神奈川県小田原市延清204-9 tel:0465-38-1002 fax:0465-38-1003	
株式会社サノ工芸社	山本 雄一郎	東京都葛飾区西亀有2-46-12 tel:03-5650-5448 fax:03-5680-0056	<a href="http://sanocraft.co.jp">http://sanocraft.co.jp</a>
株式会社アステック	内山 雅揮	神奈川県横浜市都筑区中川114-1 ハウスケア4F tel:045-914-0026 fax:045-914-0030	<a href="http://ustech-jp.com">http://ustech-jp.com</a>
株式会社メイク	寺島 順一	東京都新宿区四谷本塩町14-1 第二田中ビル4F tel:03-3288-6275 fax:03-6273-2166	<a href="https://premiumipros.jp/meikus/">https://premiumipros.jp/meikus/</a>
株式会社モザイクジャパン	青木 久明	茨城県常総市水海道高野町2139-1 tel:0297-30-9152 fax:0297-30-9153	<a href="http://mosaic-japan.co.jp">http://mosaic-japan.co.jp</a>
株式会社エニスル	長谷川 孝太郎	東京都渋谷区神泉町11-8 カネヨシビル3F tel:03-5577-3376 fax:03-5577-3379	<a href="http://www.enisuru.com">http://www.enisuru.com</a>
株式会社小松物産	宇田津 賀梨子	東京都台東区北上野2-11-14 tel:03-5827-3781 fax:03-5827-3780	<a href="https://www.komatsu-trading.co.jp">https://www.komatsu-trading.co.jp</a>
ゲーテハウス株式会社	香野 明穂	東京都中央区日本橋蛸町1-10-1 tel:03-3668-2451 FAX:03-3668-2457	<a href="https://www.goethehouse.com">https://www.goethehouse.com</a>
デュラビットジャパン株式会社	川原 永嗣	東京都渋谷区恵比寿西2-8-4 平陽ビル6F tel:03-5428-4605 fax:03-5428-4607	<a href="http://www.duravit.co.jp">http://www.duravit.co.jp</a>
株式会社CGworks	金澤 勇輝	東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マインズタワー 19F tel:03-6625-4796	<a href="https://cgworks.jp">https://cgworks.jp</a>
株式会社ワイ・エス・エム	八島 哲也	埼玉県八潮市二丁目342-1 tel:048-998-3610 fax:048-998-3615	<a href="http://www.k-ysm.co.jp">http://www.k-ysm.co.jp</a>
株式会社オフィス・ラボ	豊田 広	東京都中央区日本橋本町3-3-6 ワカ末ビル9F tel:03-6281-9950 fax:03-6281-9952	<a href="https://www.officelab-ka.com/">https://www.officelab-ka.com/</a>
株式会社マテリアルハウス	小出 寛子	東京都大田区仲池上1-19-3 tel:03-3751-5113 fax:03-3755-0065	<a href="https://www.materialhouse.jp/">https://www.materialhouse.jp/</a>
株式会社シーレックス・ジャパン	高野 光弘	神奈川県横浜市青葉区美しが丘3-55-2 tel:045-909-1515 fax:045-909-5012	<a href="http://www.ceillex.co.jp">http://www.ceillex.co.jp</a>
株式会社イシワタ	島村 豊	東京都千代田区神田練馬町73 プロミエ秋葉原201 tel:048-952-3281 fax:048-952-3285	<a href="http://www.ishiwata.co.jp">http://www.ishiwata.co.jp</a>

JCD  
KANTO  
Designers

発行人 小田秀樹/関東支部長  
編集長 古川紳太/広報委員会  
編集委員 大滝道晴/広報委員会